



写真:ヤブツバキ (県道30号線沿い 撮影:平成25年3月31日)

# ヤブツバキ

しっとりとした赤い花を咲かせるヤブツバキ。花をよく見るとそれぞれに個性があります。

一面枯れ色のえびの高原。空が広く感じられます。ヤブツバキは一年でもっとも寒い12月ごろから春にかけての長い期間、しっとりとした赤い花を咲かせます。常緑広葉樹林の代表的な樹種で霧島山では山麓から標高1200mのえびの高原付近まで広く分布しています。黄色い雄しべや、つややかな葉も美しく、茶花としても古来、愛されている花です。

冬の森にぽつと明るく咲く花を見ると心がなごみます。ヤブツバキは受粉を野鳥に頼っている鳥媒花で、メジロやカラの仲間などが蜜を吸いにやってきます。

ツバキの仲間は園芸栽培の歴史が長く、花の形や色など、さまざまな品種がつくられています。園芸品種ほどの多様さはありませんが、ヤブツバキの花の姿も、よく見るとぽつと大きく開くもの、筒状の小さな花を咲かせるものなどそれぞれに個性があります。お気に入りの1本との出会いを楽しみに花を眺めてみてはいかがでしょうか。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヤブツバキ  
*Camelia japonica*

ツバキ科ツバキ属